

中丸川流域における浸水被害軽減プラン【茨城県ひたちなか市】

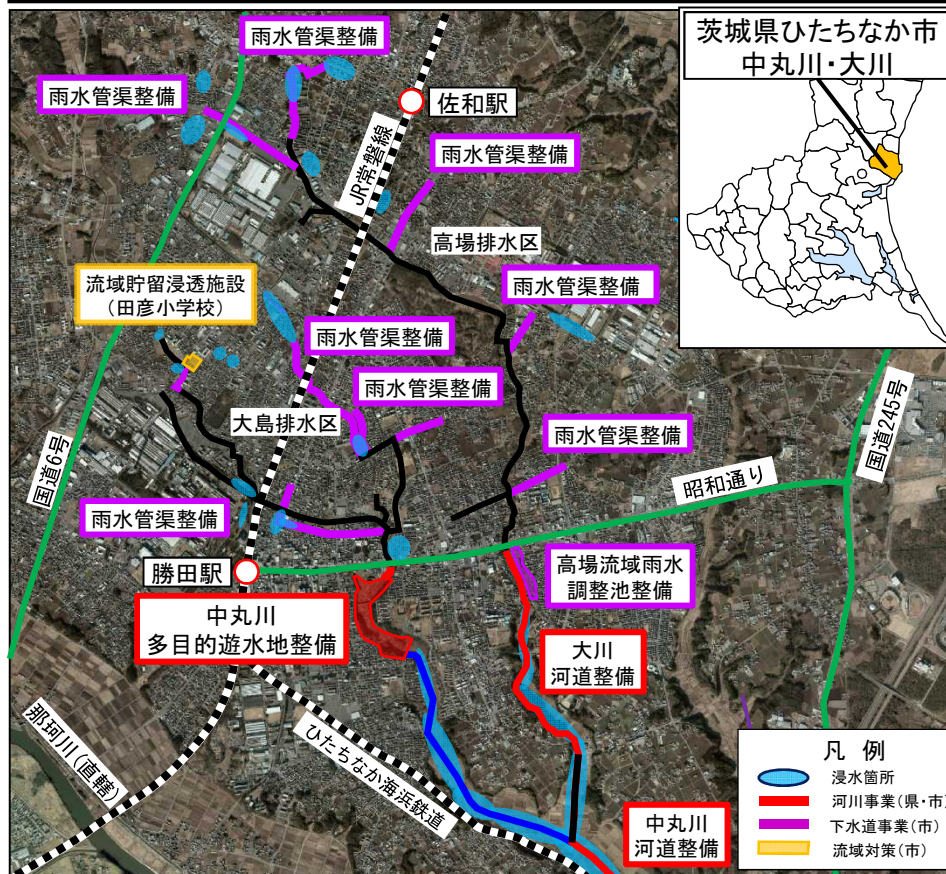
流域の概要

- 中丸川(大川)流域では、近年多発する局地的豪雨により、浸水被害が生じている
- 近年では、平成28年8月豪雨により、中丸川流域内で「床上浸水24戸」、「床下浸水149戸」の被害が発生
- 茨城県における時間雨量50mm以上の発生回数
 - ・昭和57年から平成23年までの30年間では、平均1.9回/年
 - ・平成23年から平成28年では、平均4.7回/年と時間雨量50mm以上の発生回数が増加傾向にある
- 河川・下水道の法定計画
 - ・河川(整備計画 1/5) ・下水道(事業計画 1/5)
- 浸水被害軽減プランで対象とする降雨
 - 平成28年8月豪雨 最大時間雨量 57mm

浸水被害の主な要因

- 一定規模以上の降雨があると、河川・下水道の流下能力が低いため、雨水を安全に流すことが出来ず、浸水被害が生じている。
 - 排水能力を超える降雨の増加
 - 洪水を安全に流すための河川改修の遅れ
 - 都市化の進展や土地利用の変化などによる、流出量の増大
 - 流域における浸水対策を関係機関が一体となり、総合的に推進する必要がある。

中丸川流域の総合的な浸水対策について、茨城県・ひたちなか市・企業・自治会等からなる「中丸川流域の総合的な治水対策検討会議」で検討し関係機関が対策を実施



中丸川流域の総合的な治水対策検討会議

組織	部局等
国土交通省	常陸河川国道事務所
茨城県	河川課, 下水道課, 常陸大宮土木事務所
ひたちなか市	河川課, 下水道課, 企画調整課, 生活安全課, 市民活動課, 区画整理事務所, 公園緑地課, 道路管理課
企業等	堂端自治会, 日立オートモティブシステムズ株式会社

取組の概要

- 河川・下水道
 - ・中丸川河道整備, 中丸川多目的遊水地整備, 大川河道整備
 - ・雨水幹線の整備, 調整池
- 流域対策
 - ・貯留浸透施設の整備(田彦小学校)
- 危険周知・水防活動
 - ・地域防災行政無線(屋外放送塔, 戸別受信機)
 - ・緊急速報メール(エリアメール)
 - ・災害時の広報(広報車)→災害情報周知, 発信
 - ・ひたちなか防災マップ, 市ホームページ
 - ・危機管理型水位計と水位標の設置による住民への水位の情報提供
 - ・地元自治会, 民間企業へ可搬式ポンプ貸出による事前放流(住民協働)

取組の効果(目標)

平成28年8月降雨と同規模の降雨に対して、床上浸水被害を概ね解消及び家屋浸水被害の防止・軽減を図るとともに、道路冠水による通行止め箇所を減少させる。